

第 1 2 回 東海マスタース陸上競技選手権大会要項

- 1 主 催 東海マスタース陸上競技連盟
- 2 主 管 愛知マスタース陸上競技連盟
- 3 運営協力 愛知陸上競技協会 刈谷市陸上競技協会
- 4 後 援 愛知県 愛知県教育委員会 刈谷市 刈谷市教育委員会 (財)愛知県体育協会
刈谷市体育協会 中日新聞社
- 5 日 時 平成25年5月19日(日) 雨天決行
開会式 午前9時00分 競技開始 午前9時20分
- 6 会 場 ウェーブスタジアム刈谷 (刈谷市築地町荒田1番地 TEL0566-27-8295)
・JR刈谷駅から路線バス 愛知教育大学前行 刈谷総合運動公園下車5分
- 7 参加資格 平成25年5月19日を基準として、男子満30歳以上、女子満25歳以上のアマチュア
競技者で、日本マスタース陸上競技連合の平成25年度登録者に限る。但し、東海マスタース
陸上競技連盟以外の会員は、記録は公認するが大会記録及び順位からは除外する。
- 8 競技クラス 平成25年5月19日を基準とした満年齢による年齢区分
- 9 競技種目

男子の部			女子の部		
クラス	年齢区分	種 目	クラス	年齢区分	種 目
SM30	30～34	60m 走高跳	SW25	25～29	60m 走高跳
M35	35～39	100m 棒高跳	W30	30～34	100m 棒高跳
M40	40～44	200m 走幅跳	W35	35～39	200m 走幅跳
M45	45～49	400m 三段跳	W40	40～44	400m 三段跳
M50	50～54	800m 砲丸投	W45	45～49	800m 砲丸投
M55	55～59	1500m 円盤投	W50	50～54	1500m 円盤投
M60	60～64	5000m ハンマー投	W55	55～59	5000m ハンマー投
M65	65～69	3000mW やり投	W60	60～64	3000mW やり投
M70	70～74	重量投	W65	65～69	重量投
M75	75～79	3000m (M60以上)	W70	70～74	3000m (W50以上)
M80～	5歳刻み	4×100mR (M35以上)	W75～	5歳刻み	4×100mR (W30以上)
		80mH (M70～M80)			80mH (W40～W70)
		100mH (M50～M65)			100mH (W35以下)
		110mH (M45以下)			
リレーの	男子還暦 4×100mR	①M70 ②M65 ③M65 ④M60			
特殊種目	混合 8×100mR (中日杯)	①男子50歳以上 ②女子50歳以上 ③男子50歳以上 ④女子50歳以上 ⑤女子50歳未満 ⑥男子50歳未満 ⑦女子50歳未満 ⑧男子50歳未満			

- 10 参加制限 1人の参加できる種目は、リレーを除き3種目までとする。
- 11 参加申込料 ①1人1種目3,000円、2種目3,500円、3種目4,000円とする。
②リレーは、県単位の編成で複数チームを認め、無料とする。(リレーのみの参加は認めない。)

1 2 申込方法

- ① 所定の申込用紙又はメール様式で **4月12日(金)までに必着** のこと。
- ② 申込期日後の参加申し込み及び申し込み後の変更は、一切認めない。
- ③ 参加申込料の納入は、**郵便振込** で下記口座に振り込むこと。郵便振込み以外は受付けない。
口座番号 **12190-69817241** 口座名義 **佐野 昭二**

- ④ 申込先 **〒444-1324 高浜市碧海町3-5-1 佐野 昭二 TEL 090-9182-8409**
メールでの申込みは、e-mail shoji_sano@ae.auone-net.jp

- ⑤ 申込書類 参加申込書及び平成25年度マスターズ会員登録証明書（東海5県以外の参加者のみ）
- ⑥ リレー申込書は、代表者がメンバーを記入し申し込みすること。

1 3 競技規則 平成25年度日本陸上競技連盟競技規則,日本マスターズ陸上競技連合競技規則及び 本大会開催要項を準用する。ただし、女子投てき競技のうち用具のないクラスについては、 旧ルールを適用する。

- 1 4 申込受付証 番組編成後、申込受付証を5月上旬頃に郵送する。

- 1 5 ナンバーカード 主催者が用意をするナンバーカードを使用する。(競技終了後返却のこと。)

- 1 6 表彰 東海マスターズ陸上競技連盟の会員のみを対象とし、各クラス種目の1位にはメダルと賞状、2位から3位には、賞状を授与する。

1 7 参加者の保健上の留意事項

- ① 事前に健康診断などを受けて、自己の健康に十分留意して出場すること。
- ② 大会当日、主催者は参加者に対して、一日レクリエーション傷害保険に加入するが、万一の場合に備えて、保険証を持参することが望ましい。
- ③ 競技場内で競技中に発生した傷害、疾病に対しては、主催者は応急措置をするが、それ以後の責任は一切負わないことを承諾の上で参加すること。

1 8 競技の実施細目 競走競技において参加人員、競技進行の関係で、次の制約を設ける。

- ① クラス別の出場人員が少ないときは、他のクラスと同時に競技することがある。
- ② 3,000mは、男、女とも20分、5,000mは、男、女とも25分、3,000mWは、男、女とも30分を超えた場合は、新たな周回に入らない。
- ③ スパイクのピンは、全天候用とし、長さはトラック競技は9mm以下、フィールド競技は12mm以下とする。
- ④ 競走競技は、タイムレースで順位を決定する。但し、同記録の場合は、生年月日の早い者を上位とする。
- ⑤ フィールド競技の試技数は、跳躍競技（走高跳を除く）は3回、投擲競技は4回とする。
- ⑥ 砲丸、円盤、ハンマー、やり、重量は、原則として主催者が準備したものを使用する。
- ⑦ 棒高跳びの最初の高さは、1m60cmとし、ポールは、参加者が持参のこと。

1 9 記録の申請 ① 参加者全員の記録は、主催者が日本マスターズ陸上競技連合に申請する。

- ② 記録証を希望する参加者には、当日申込みし、後日郵送する。(1件500円)

2 0 個人情報の使用について

- ① 氏名、年齢、県・市町村名、記録については、プログラム及び成績発表資料に掲載する。
- ② ①の他、大会運営上必要なこと以外には、本人の承諾なしに使用しない。